

第 21 回 100 年史誌部会 議事録

日 時： 2007 年 12 月 12 日（水）16 時 10 分～17 時 10 分

場 所： 管理棟 2 階 第 1 応接室

出席者： 横山部会長、粟野、大町、松田、平田、小山、金子、小池、片山、赤平、
山崎各委員、小室編集局員、斎藤編集補助員

欠席者： 高畑、神戸各委員

【配付資料】

[資料 21-1] 報告事項（100 年史誌編集局）	（1 頁）
[資料 21-2] 創立 100 周年記念事業実行委員会 第 8 回総務部会メモ	（2 頁）
[資料 21-3] 100 周年記念誌企画競争関係	（6 頁）
[資料 21-4] 今月の話題（12 月、赤平委員）	（1 頁）
[資料 21-5] 電子情報系部局史目次（案）（金子、小山、平田委員）	（1 頁）
[資料 21-6] 資料調査「大正 11～15 年日誌抄録」（小室編集局員）	（12 頁）

I) 報告事項

小室編集局員から [資料 21-1] にもとづいて次のとおり報告された。

1. 史誌の正式名称について

- ・ 通称ジャーナルの正式名称は「100周年記念誌」になる
- ・ 通称ヒストリーの正式名称は「百年史」になる
- ・ 基本的には、「百年史」以外はアラビア数字の「100」を使用することになる

2. 次回までの提出案件について

（1）各部局史の編集方針

第 19 回部会（10 月）に提出いただいたスケジュールによれば、事務部門を除く各科では今月末までに編集方針が決定される予定になっているので、次回部会（1 月）で発表いただきたく準備方お願いしたい

（2）今月の話題

次回は松田委員になるので、よろしくお願ひしたい

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌関係

① 総務部会での経緯

横山部会長から〔資料 21-2〕にもとづいて、次のようなポイントが説明された。

- ・百年史印刷費 500 冊分および 100 周年記念誌印刷費 570 冊分がコアとなって予算化されており、史誌制作費として 909 万円が計上された
- ・ジャーナル 6000 冊分については、教育後援会などから別途負担いただくことになろう
- ・ジャーナルの制作については、基本的には提案どおりだったが、委託業者の選定は大学本部におまかせすることになったので、財務会計の担当者と協議する予定

② 100 周年記念誌について

片山委員から〔資料 21-3〕にもとづいて、企画競争関係のスケジュール（原案：12 月 18 日企画競争公告、同 27 日企画競争説明会、1 月 10 日参加表明書提出期限、同 18 日提案資料等提出期限、同 23 日プレゼンテーション）、企画競争に関する公告（案）、企画・編集仕様書、参加表明書様式、評価書様式について説明された

これに対し、「公告(案)では企画競争説明会の会場が小白川地区になっているが、米沢地区のほうが便利なのではないか」「仕様書では照会先が米沢地区になっているのはちぐはぐではないか」などの意見が出され、横山部会長からは「本部の財務で処理するのが望ましいと考えるが、意見は本部にあげる」との答弁があった

2. 百年史関係

① 「今月の話題」について

今月執筆当番の赤平委員から、原稿（〔資料 21-4〕）について説明があった（本部会ののちただちに掲載された）

② 電子情報系部局史目次（案）について

金子委員から〔資料 21-5〕にもとづき説明があった

③ 資料調査（大正 11 年～昭和元年日誌について）

小室編集局員から〔資料 21-6〕にもとづき説明があった（特に、大正 11 年の新運動場使用開始、佐藤教授の「相対原理ノ講演会」（研究面にも注力傾向）、12 年の下山校長退官・柴田校長着任、同窓会設立、「東京付近大震害」、13 年の米沢工業会米沢支部発会式、煙筒倒壊、「勤儉週」、14 年の米沢スキー倶楽部、黄砂、オーム会等、電気サイレン、朝倉少尉着任（軍事教育）、岡田文相来校、「ラヂオ受話開始」、十五周年記念式、「バルコニー」での吹奏楽、「摂政殿下（東宮殿下）」来校、15 年の校歌、山田教授への初の博士学位授与、弓道館設置、大正天皇「崩御」、などがポイント）

委員からは、現在この種の日誌があるのかどうかについて質問が出され、小室編集局員からは、現在調査中ないし入手整理中であるとの答弁があった

3. 委員交代の件

平田委員が来年度電気電子工学教育プログラム長に就任予定のため、委員交代を前倒しして、来月から平田委員（旧）から奥山委員（新）に交代することとなった

Ⅲ) 次回会議について

2008年1月23日（水）16時10分～ 於：管理棟2階 第1応接室

以上